

## 第25回 日中運輸経済技術交流会議

主催：一般財団法人運輸総合研究所 (JTTRI), 中華人民共和国国家発展改革委員会総合運輸研究所 (ICT)

### 開会挨拶



汪鳴  
ICT所長

宿利正史  
JTTRI会長

### 最近の研究活動について



汪鳴  
ICT所長

山内弘隆  
JTTRI所長

### サブテーマ①「都市内交通」



新しいモビリティサービスに関する研究について  
安達弘展 JTTRI研究員  
中国の都市交通発展の特徴及び政策枠組み  
蔣中銘 ICT研究員  
ディスカッション

### サブテーマ②「都市間交通」



中国都市間交通の発展形態、効果、動向  
丁金学 ICT研究員  
日本における駅と街の一体的な開発の事例と今後  
嶋田優樹 JTTRI研究員  
ディスカッション

### サブテーマ③「国際交通」



新型コロナウイルス感染症による航空業界への影響と対応策  
藤村修一 JTTRI研究員  
ポストコロナ時代における国際交通の発展に関する若干の考察  
王楊堃 ICT研究員  
ディスカッション

### 閉会挨拶



奥田哲也  
JTTRI専務理事

汪鳴  
ICT所長

## 【開催概要】

3月24日、運輸総合研究所において、第25回日中運輸経済技術交流会議を開催しました。

この会議は、1984年（昭和59年）以来、国家発展改革委員会総合運輸研究所と国土交通省・運輸総合研究所との間で、情報交換を目的として概ね毎年1回両国交互に開催している会議です。

2018年6月に第24回交流会議を開催して以降、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け暫く延期となっていました。今般約4年ぶりの開催となりました。

中国側の国家発展改革委員会は、国家としての各種の計画の策定、大規模プロジェクトの許可を担当している中国の中核的な行政組織です。

今回は、「ポストコロナ時代における交通の在り方」というテーマのもと、中国側は、国家発展改革委員会総合運輸研究所から汪所長はじめ22名が参加し、当研究所からも、宿利会長、山内所長はじめ多くの研究員が参加し、サブテーマ毎にそれぞれの研究発表と活発な議論が展開されました。

会議の中では、サブテーマ①「都市内交通」では、日本側から「新しいモビリティサービスに関する研究について」として、日本各地での新しいモビリティサービスの導入による地域課題解決の事例と示唆について、中国側からは「中国の

都市交通発展の特徴及び政策枠組み」として中国における都市開発のプロセスや公共交通の発展戦略について、発表されました。

続いて、サブテーマ②「都市間交通」では、中国側から「中国都市間交通の発展形態、効果、動向」として、都市間輸送の発展パターンや新型コロナウイルス感染症の都市間輸送への影響について、日本側から「日本における駅と街の一体的な開発の事例と今後」として、渋谷における東急によるプロジェクト等を例に、日本型の駅と街の一体的な開発の状況と今後の見通しについての発表がありました。

最後に、サブテーマ③「国際交通」について、日本側から「新型コロナウイルス感染症による航空業界への影響と対応策」として、新型コロナウイルス感染症の世界の航空会社の経営への影響や新たな事業戦略について、中国側から「ポストコロナ時代における国際交通の発展に関する若干の考察」として、新型コロナウイルス感染症の海運・陸運への影響を中心とした発表がありました。

最後に、中国側から、次回の日中運輸経済技術交流会議を来年北京で開催したいとの提案があり、盛会のうちに終了いたしました。

本開催概要は主催者の責任でまとめています。

URL：<https://www.jttri.or.jp/events/2022/220324ict.html>

